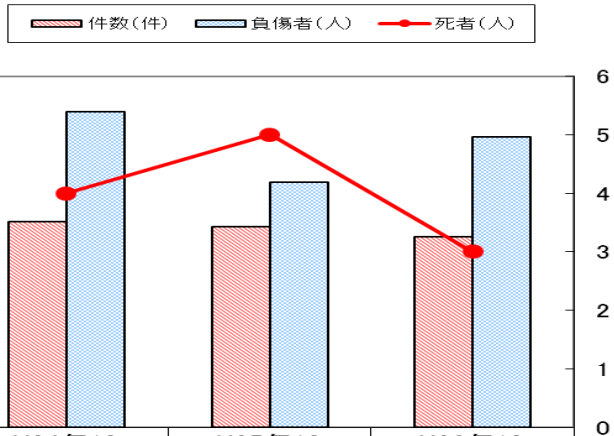
飲酒運転の根絶に向けて

◆飲酒運転による交通事故は、近年全国的に減少傾向にあるものの、未だに飲酒運転が関係する悲惨な交通事故は後を絶たず、大きな社会問題となっています。

県内では今年１月から１０月末までに、飲酒運転が関係する交通事故が３８件発生し、５８人の方がけがをされています。昨年同時期と比較すると、件数は減少していますが、負傷者数は増加しています。

飲酒運転は、重大な事故に直結するきわめて悪質・危険な行為です。一人ひとりが**「飲酒運転を絶対にしない、させない、許さない」**ことを徹底し、飲酒運転の根絶をはかりましょう。

飲酒運転による事故の推移



	H24年10月末	H25年10月末	H26年10月末
件数（件）	41	40	38
負傷者（人）	63	49	58
死者（人）	4	5	3

「ハンドルキーパー運動」に参加しましょう！

「自動車で仲間と飲食店などへ行く場合に、お酒を飲まない人（ハンドルキーパー）を決め、その人が仲間を安全に自宅まで送り届ける。」という運動で、この運動が国民運動として定着することを目指し、運転者関係団体への参加や酒類を提供する店舗に対する協力の呼びかけをおこなっています。

１０月から１２月の夕暮れ時は交通事故が多発

◎　歩行者は、夕暮れに外出するとき

反射材の活用と明るく目立つ色の服装

◎　車の運転及び自転車乗車時は

“早め点灯　４時からライト”

を心がけましょう。